



のびるほどっ子!

もっと ほっと ずっと

2022. 1. 31



横浜市立保土ヶ谷小学校

2022年～創立150周年メモリアルイヤー～

「未来へつなごう!! いっぱいの笑顔とやさしさを!」

副校長 内田 宏

保土ヶ谷小学校は、今年創立150周年を迎えます。7月9日(土)にはメモリアルイヤーを記念した「横浜市立保土ヶ谷小学校150周年記念式典」を実施いたします。「未来へつなごう!! いっぱいの笑顔とやさしさを!」をテーマに、記念式典は二部構成で実施予定です。第一部では、本校体育館にて保土ヶ谷小学校の150年の歴史を振り返るとともに、現在の保土ヶ谷小学校の姿を共有しながら、創立150周年を祝いたいと考えています。

また、地域からの記念品贈呈式や、本校の功労者の皆様の表彰式を予定しています。第二部では、保土ヶ谷小の子どもたちが未来に向けたメッセージを風船に託し、全校児童で校庭から大空に風船を放ちます。また、地域からの記念品除幕式も予定しています。校内では創立130周年・140周年時に当時在籍していた児童が作成したタイムカプセルの披露と展示を行います。

しかしながら、2022年創立150周年のメモリアルイヤーを目前にコロナ禍となってしまいました。新しい生活様式による社会の変容は、「マスクの着用やソーシャルディスタンスを確保した授業、対話やかかわりの制限、教職員による校内の消毒作業、学校行事の中止や延期」など学校生活にも大きな影響を与えています。150周年行事の準備においても、コロナ禍での開催を想定せざるを得なくなりました。式典への参加者の制限や、飲食を伴う祝賀会の取りやめなど縮減せざるを得なかったことも多くあります。来賓として式典にご参加いただきたい全ての皆様と、150周年という節目の時を共有できないことは残念でなりません。来月には、150周年実行委員会より式典の招待状と開催のお知らせを発送いたしますが、招待状を送りできない皆様が数多くいらっしゃいます。大変失礼とは存じませうか、諸事情をご推察いただき、ご理解いただきますようお願いいたします。

このような中、コロナ禍での150周年の準備は、私たち教職員に「子どもたちにとって学校とは、どのような存在なのか。」「子どもたちにとって必要な学びとは何なのか。」学校の在り方を改めて考える機会となりました。コロナ禍だからこそ、子どもたちにとって今大切なことは何なのかということに常に念頭に置き、心を込めて今できることを実施していきたいと考えています。創立150周年にあたり、これまでの本校のあゆみを支えてくださった地域の皆様に改めて感謝するとともに、151年からの新しい一歩を地域の皆様とともに踏み出し、これからも共に歩んでいきたいと思っています。

最後に150周年のシンボルキャラクターについて紹介いたします。150周年テーマ「未来へつなごう!! いっぱいの笑顔とやさしさを!」を表すようなキャラクターデザインのアイデアを1年生～5年生の児童から公募したところ、本校の校章である「梅鉢」をモチーフに「未来」「笑顔」「やさしさ」を表現するアイデアが最も多く占めました。「梅鉢」をモチーフにした全てのアイデアスケッチを、プロのデザイナーにお渡しし、150周年シンボルキャラクターを作成していただいています。来月には、お披露目できる予定です。150周年テーマを体現しているキャラクターに仕上がりがつつあるとのこと。来月の学校だより等でお知らせいたしますので、仕上がりを楽しみにしていただければと思います。